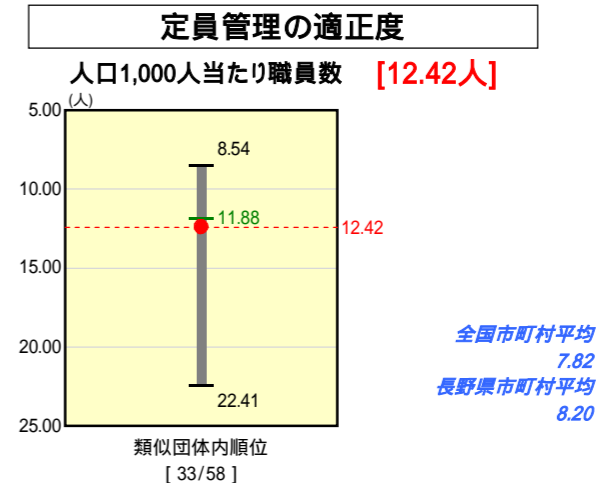
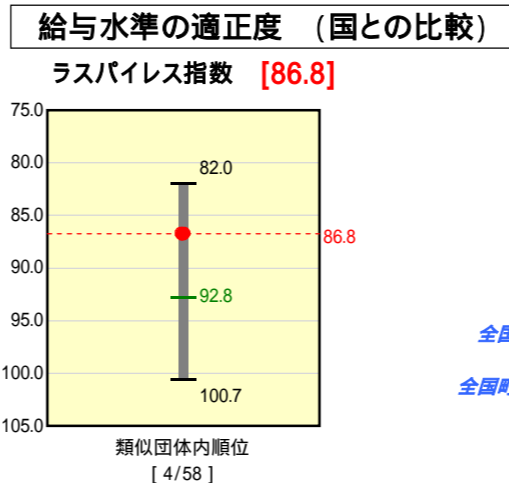
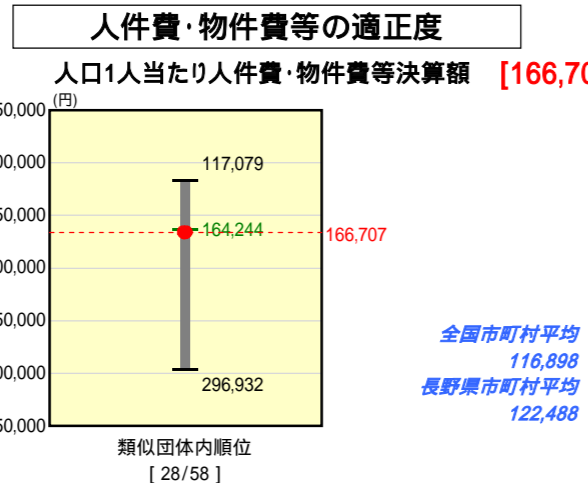
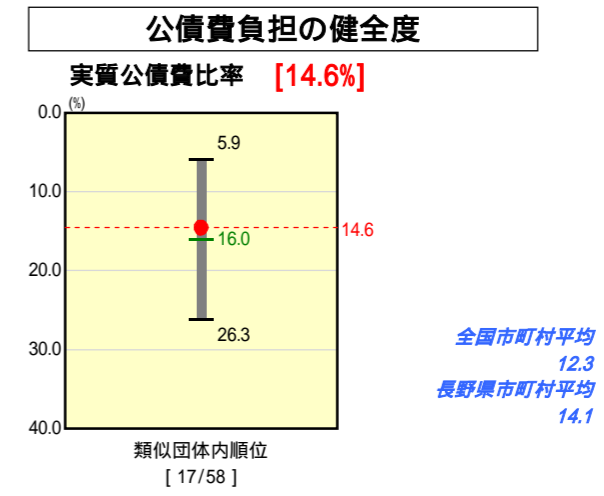
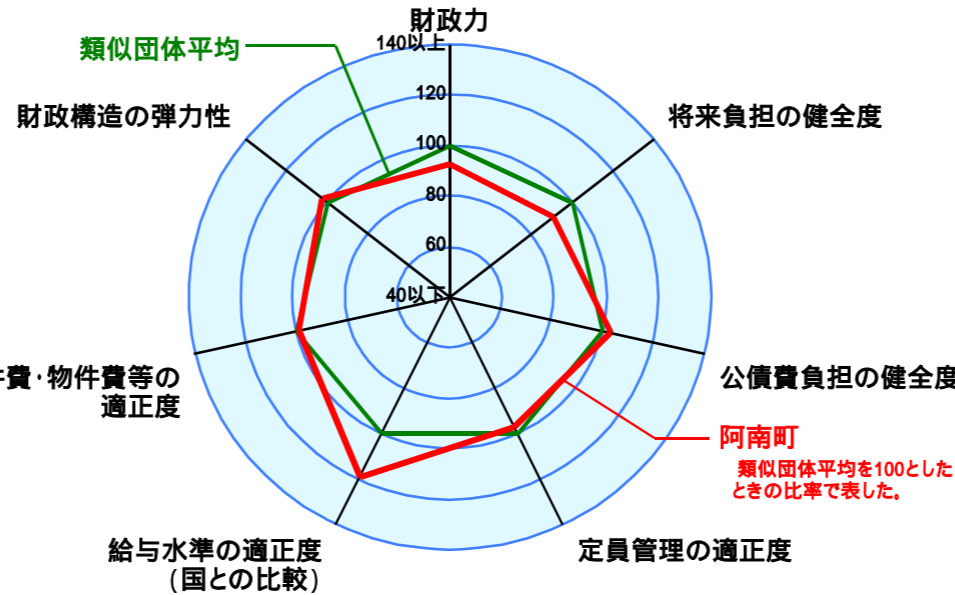
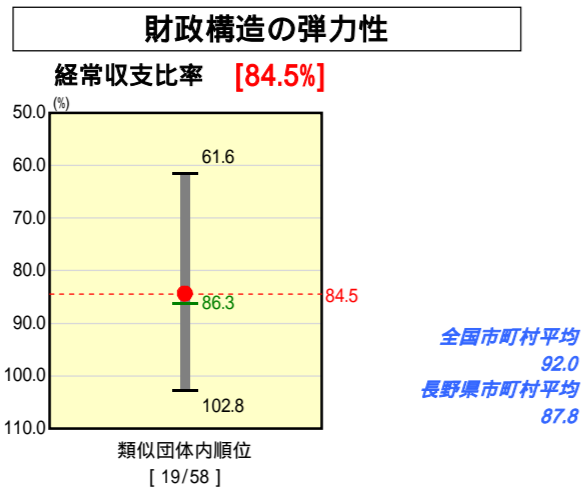
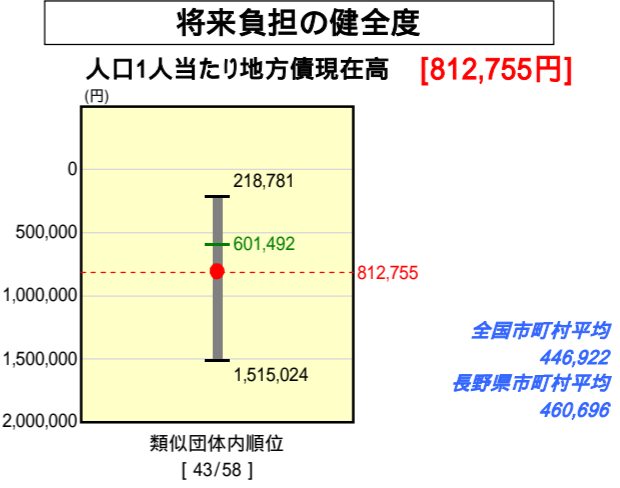
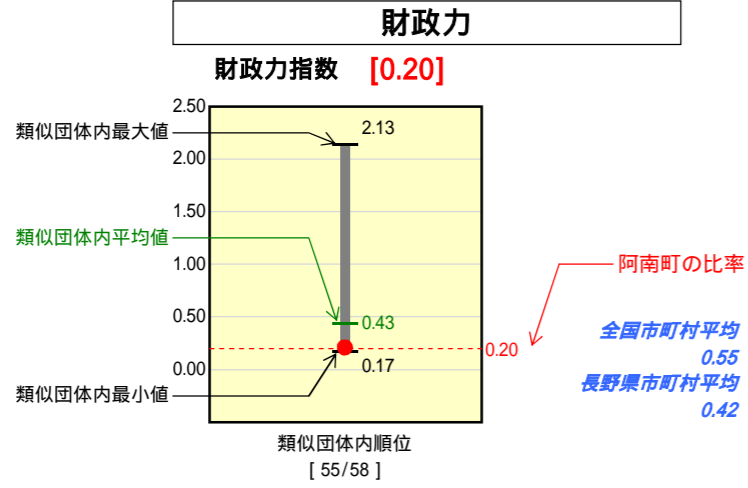


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 阿南町

人口	5,636人	(H20.3.31現在)
面積	123.35	km ²
歳入総額	4,149,387	千円
歳出総額	4,041,393	千円
実質収支	66,660	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成20年3月現在39.6%)に加え、町内の産業も中小規模であること等により、財政基盤が弱く類似団体平均を大きく下回っている。企業育成・誘致や住民所得向上のための施策を充実させ税収増加に力を入れたい。

経常収支比率
類似団体平均を下回っているが、平成19年度が起債償還のピークであること、制度改正による扶助費の増加や操出金の増加等により比率は年々悪化している。集中改革プランにおける定員適正化計画(5年間で10人の職員削減)の実施による人件費の削減や、起債発行額の抑制、扶助費・補助費の見直しにより義務的経費を抑制し現在の水準を維持したい。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
町有施設の管理運営を指定管理者制度の導入や民間委託等により経営改善したため、類似団体平均水準となっている。今後、老朽化に伴う施設維持費等の大幅な増加が見込まれるが、施設の統廃合も含め管理運営のさらなる見直しを行い経費削減を図りたい。

人口1人当たり地方債現在高
山間僻地で集落が散在する当町では、町道建設改良事業を中心に生活基盤の整備を実施してきたため類似団体平均を大きく上回っている。平成15年度末現在高をピークに減少しているが、普通建設事業の見直し・先送りによる発行額の抑制を行い、今後5年間で類似団体平均以下になるよう目指したい。

実質公債費比率
起債償還上償還及び発行額の上限枠設定などにより類似団体平均を下回っている。平成19年度をピークに償還額は減少に転ずるが、今後とも起債発行額の抑制(歳入の10%以内)を行い実質公債費比率の急激な上昇を抑えたい。

人口1,000人当たり職員数
機構改革等組織再編による職員の採用抑制や施設の運営を民間委託するなどして、類似団体平均となっている。集中改革プランにおける定員適正化計画(5年間で10人の職員削減)の実施により更なる削減を行うとともに、職員的能力開発等によりサービス水準を維持したい。